

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント (平成 22 年 3 月 31 日現在)

総務省自治行政局住民制度課

○全国の人口は、1 億 2,705 万 7,860 人

○全国の人口は、3 年ぶりに減少

- ・調査開始（昭和 43 年～）以来、平成 18 年に初めて減少。平成 20 年、21 年と増加したが、再び減少
- ・1 億 2,707 万 6,183 人 → 1 億 2,705 万 7,860 人
対前年 1 万 8,323 人減
- ・出生者数が 2 年連続で減少し（107 万 3,081 人）、死亡者数は調査開始以来最高となった（114 万 6,105 人）。
- ・転入者数（534 万 6,629 人）及び転出者数（532 万 4,052 人）はそれぞれ調査開始以来（昭和 43 年～）最低となった。

○人口増加数は東京都、人口増加率は沖縄県がトップ

- ・東京都の人口増加数：6 万 1,654 人
- ・沖縄県の人口増加率：0.60%

○市部（特別区を含む。）の人口割合が、全国の人口の約 9 割

- ・市部：1 億 1,495 万 4,512 人（90.50%）
- ・町村部：1,210 万 3,348 人（9.50%）

○三大都市圏（東京圏、名古屋圏及び関西圏）の人口が、過去最高を記録

- ・昨年（50.37%）に引き続き、全国人口の半数を上回る（50.51%）

○全人口に占める年少及び生産年齢人口の割合は調査開始（平成 6 年～）以来毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加

- ・年少人口（0 歳～14 歳）：13.42%（調査開始（平成 6 年）以来毎年減少）
- ・生産年齢人口（15 歳～64 歳）：63.90%（調査開始（平成 6 年）以来毎年減少）
- ・老年人口（65 歳～）：22.68%（調査開始（平成 6 年）以来毎年増加）

○世帯数は、調査開始（昭和 43 年～）以来毎年増加

- ・5,287 万 7,802 世帯 → 5,336 万 2,801 世帯
対前年 48 万 4,999 世帯増

○1 世帯の平均構成人員は、調査開始以来（昭和 43 年～）毎年減少

- ・2.40 人／世帯 → 2.38 人／世帯 対前年 0.02 人／世帯減